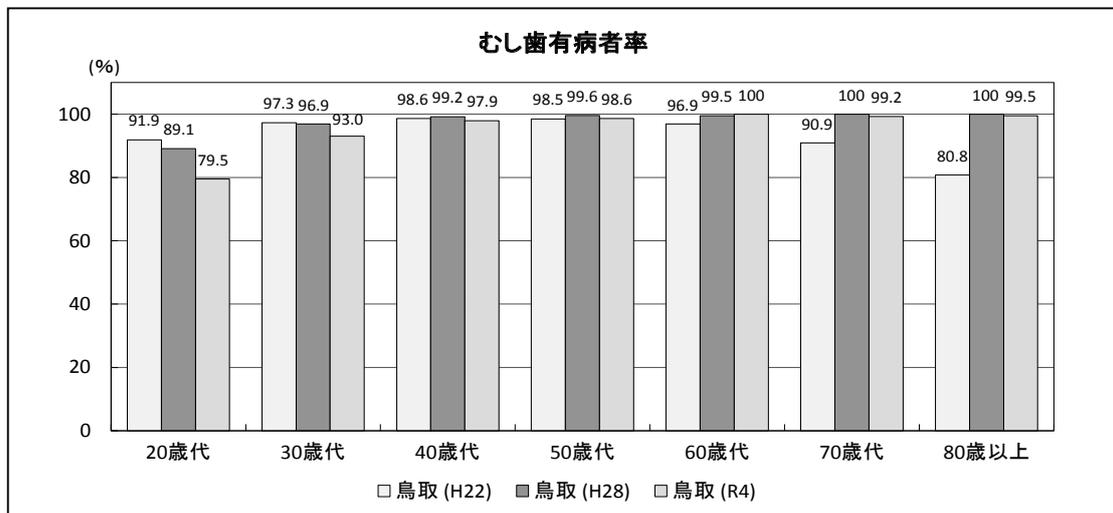


## **Ⅱ 歯科疾患実態調査の概況要旨**

## Ⅱ 歯科疾患実態調査の概況要旨

### ○むし歯の状況

むし歯の有病者率は、前回調査と比較し20歳代では減少傾向にあるが、30歳代以降では高い有病者率で横ばい状態である。



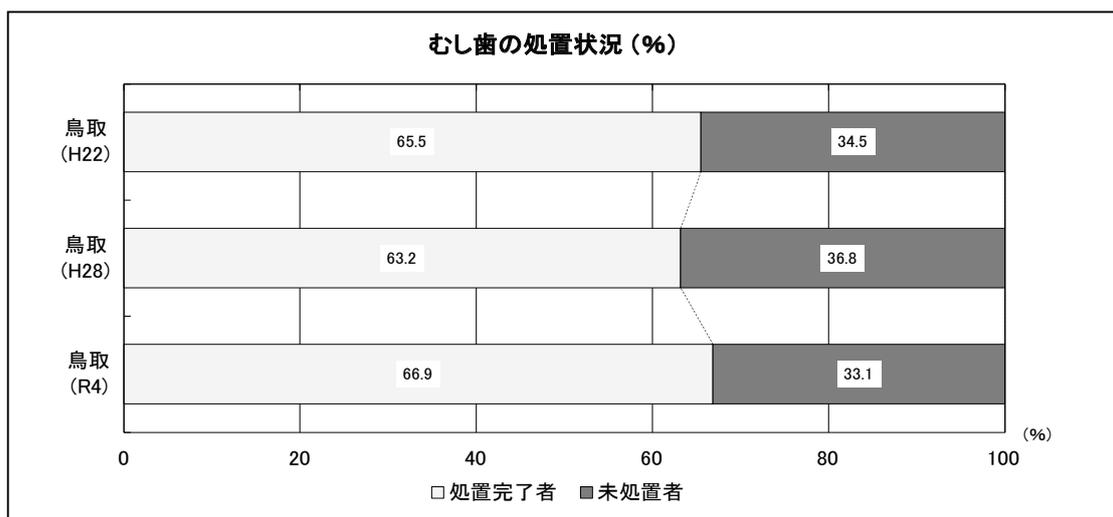
### むし歯有病者率

(単位：%)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
鳥取 (H22)	91.9	97.3	98.6	98.5	96.9	90.9	80.8
鳥取 (H28)	89.1	96.9	99.2	99.6	99.5	100	100
鳥取 (R4)	79.5	93.0	97.9	98.6	100	99.2	99.5

### ○むし歯の処置状況

むし歯の処置完了率は、ほぼ変化なく未処置者は依然3割を超える横ばい状態である。



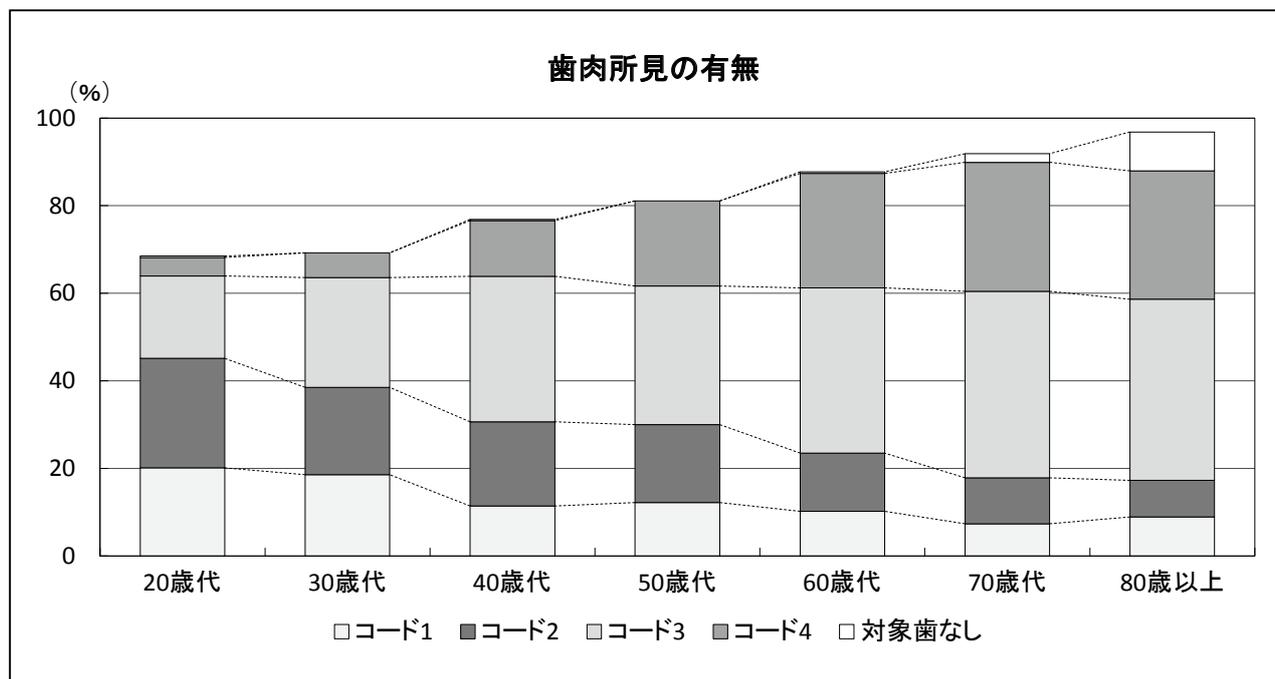
### むし歯の処置状況

(単位：%)

	処置完了者	未処置者
鳥取 (H22)	65.5	34.5
鳥取 (H28)	63.2	36.8
鳥取 (R4)	66.9	33.1

## ○歯肉の状況

歯肉に所見のある者は、40歳代から増加傾向を示しており、高齢になるにつれて、コード3・コード4の割合が高くなっている。



## 歯肉所見の有無

(単位：%)

鳥取(R4)	処置完了者	所見のあるもの					対象歯なし
		総数	コード1	コード2	コード3	コード4	
20歳代	308	68.2	20.1	25.0	18.8	4.2	0.3
30歳代	387	69.3	18.6	19.9	25.1	5.7	0.0
40歳代	385	76.6	11.4	19.2	33.2	12.7	0.3
50歳代	360	81.1	12.2	17.8	31.7	19.4	0.0
60歳代	294	87.4	10.2	13.3	37.8	26.2	0.3
70歳代	258	89.9	7.4	10.5	42.6	29.5	1.9
80歳以上	191	88.0	8.9	8.4	41.4	29.3	8.9

コード0 歯肉に炎症の所見が認められない

コード1 プロービング後に出血が認められる

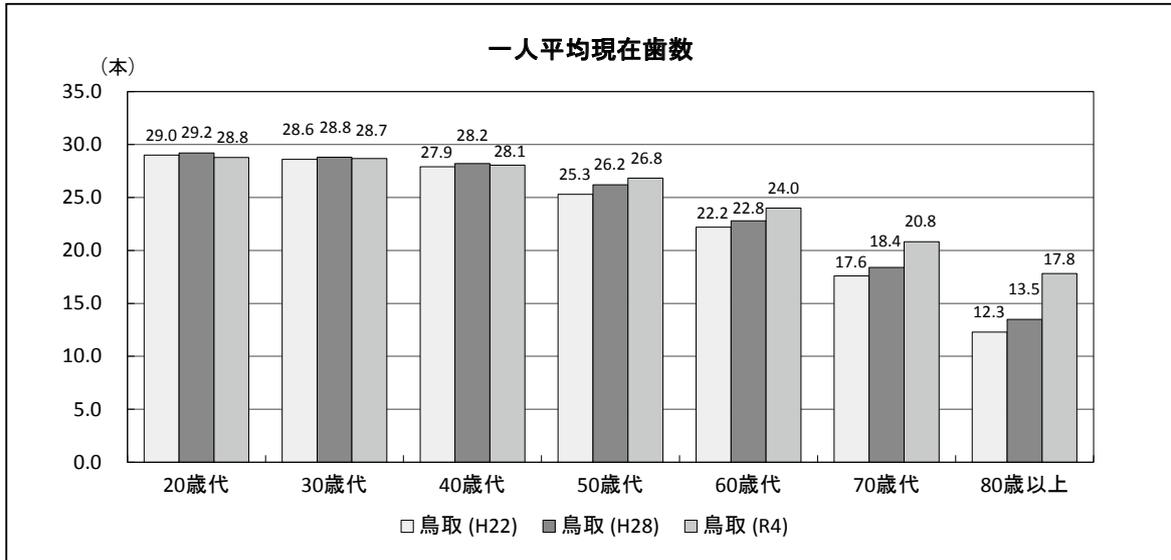
コード2 歯石の沈着（歯肉縁下4mmまでのプロービングによる検出を含む）

コード3 ポケットの深さが4mm以上6mm未満

コード4 ポケットの深さが6mm以上

## ○現在歯の状況

平均歯数は50歳代から減少を認めるが、前回調査と比較すると60歳以上の残存歯数の減少率は低下傾向にある。80歳以上の残存歯数は前回比4.3本増加した。



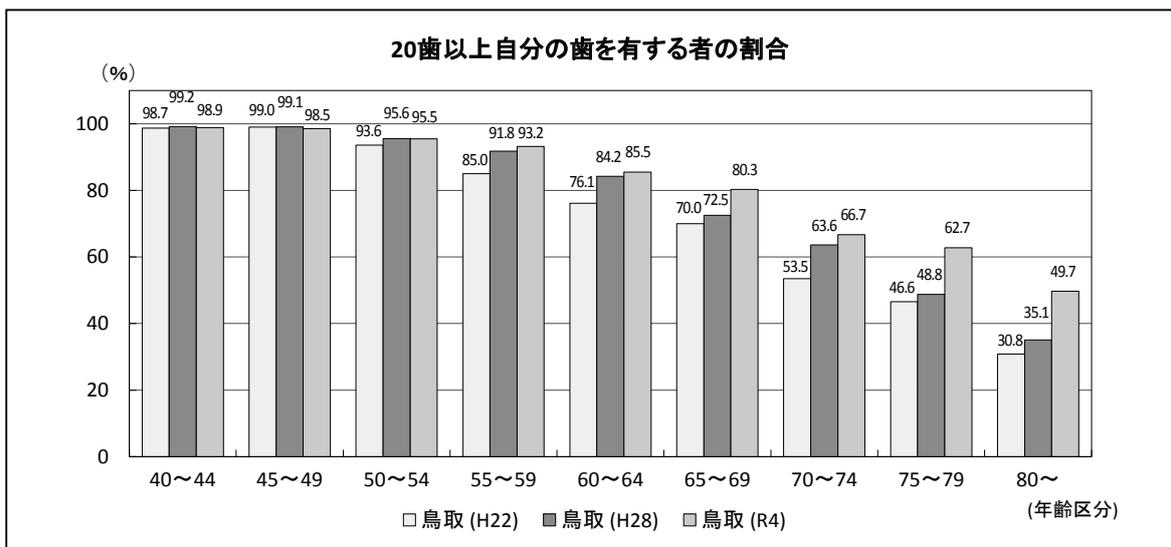
一人平均現在歯数

(単位：本)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
鳥取 (H22)	29.0	28.6	27.9	25.3	22.2	17.6	12.3
鳥取 (H28)	29.2	28.8	28.2	26.2	22.8	18.4	13.5
鳥取 (R 4)	28.8	28.7	28.1	26.8	24.0	20.8	17.8

## ○20歯以上の歯を有する者

20歯以上の歯を有する者の割合は、全体に増加傾向にある。特に75歳以上の者の20歯以上の増加が顕著である。80歳以上で約半数となった。



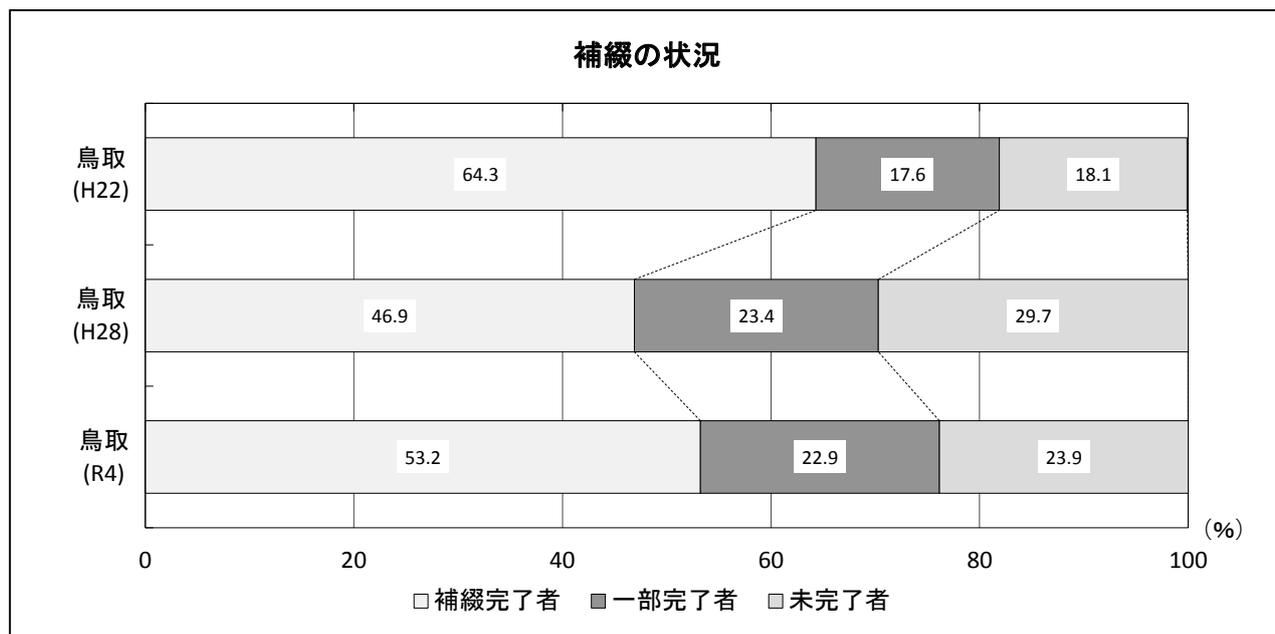
20歯以上自分の歯を有する者の割合

(単位：%)

年齢区分	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～
鳥取 (H22)	98.7	99.0	93.6	85.0	76.1	70.0	53.5	46.6	30.8
鳥取 (H28)	99.2	99.1	95.6	91.8	84.2	72.5	63.6	48.8	35.1
鳥取 (R 4)	98.9	98.5	95.5	93.2	85.5	80.3	66.7	62.7	49.7

## ○補綴（義歯装着）の状況

今回の調査では補綴完了者は53.2%であった。前回調査と比較し補綴完了者はやや増加した。



### 補綴の状況

(単位：%)

	補綴完了者	一部完了者	未完了者
鳥取 (H22)	64.3	17.6	18.1
鳥取 (H28)	46.9	23.4	29.7
鳥取 (R 4)	53.2	22.9	23.9

補綴完了者 + 一部完了者 + 未完了者を100として算出